

学力向上に効果のある取組事例

別府市立山の手小学校

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体①

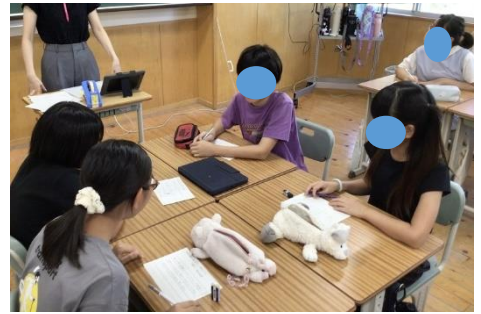
○思考力・判断力・表現力の育成

- ・週に1度、自分の考えを書く活動を朝タイムに位置付けている。
- ・「話し合い活動を活性化する手立て」を校内研修において、情報共有しながら考え、取組を進めている。

○「努力を要する状況の子ども」への手立ての構築

- ・「努力を要する状況の子ども」への手立てを、学年部基盤で考え、その結果を日々の授業に生かしている。

考えを交流する場面



取組具体例

- ・プリント等学習教材を学年内で共通化し、定期的に取り組み。
- ・話し合い活動のための時間の確保に加え、座席配置も工夫する。
- ・学習の歌を活用したり、定期的に関かせたりして、日常生活の中で学習環境の整備と習慣化を図る。

取組の具体②

○全体研・学年部研の推進強化

- ・全体研と学年部研を、数年前から国語と算数を中心に継続して行っている。授業研も全学年が計画的に行っている。
- ・上記取組の継続性が、学び合う教師集団づくりの向上と、子どもの長期的な変容を捉えることにつながっている。学習環境の整備や雰囲気づくりについて見通しをもちながら取り組みを進めている。

○アンケートによる児童の意識調査

- ・児童アンケートで、学習意欲の状況を分析し、日頃の授業改善につなげている。

<授業改善>



デジタル端末を使いながら、グループ活動で考えを交流。



授業研で教職員の学び合い。

<1学期児童アンケート肯定的回答率>

- 学校が楽しい 91.1%
- 授業がわかる 89.3%
- グループやペアの学習で友だちの考えを聞いたり、自分の考えを言ったりすることができた 87.1%
- 授業のとき、自分の考えを書くことができた 92.7%